



# かわらばん

## 新入生歓迎パーティー

野口 勤



9月27日（土）に新入生歓迎パーティが開催されました。晴天にも恵まれ、80人を越える学生が参加してくれました。

まずはおにぎり作り、学生達にお願いしている恒例のお手伝い！ 夢っくすサロンから大きな笑い声が聞こえてきました、初めての経験に戸惑いながらも、楽しそうに作ってくれている様子が伺えました。私は焼肉係を担当しました。学生の集まり具合を見てお肉を焼き始めましたが、急に学生が集まり、網の上の肉はあっと言う間に無くなりました。次が間に合いません、箸と皿を持った学生達がじっと 肉を見つめる視線に耐え切れず。ける前の肉を網の上で予約を受け付けることにしました。

焼そして、肉が焼けるまで、出身国の方々や好きなアニメについて会話をすることにしました。日本語が話せる学生が多いことに驚きました、私に、“日本語で質問をしてくれ！”と挑戦する学生もいました。アニメやAIで自主勉強、スマホで日本に関する情報収集、来日前にかなり勉強してきている印象を受けました。

私にとって印象深かったのは、今年5月に私が国際大学の卒業生を訪ねて旅をしたウズベキスタンからの留学生との会話、訪ねた地名、地下鉄の駅名、ホテル、食べた料理の名前を並べるだけで話が盛り上がり親しみ倍増しました。更にインド／インパール（第二次大戦の多くの戦死者を出した激戦地）からの学生との出会い、我々世代は、親や歴史書等からの話として忘れることが出来ない地名です。特に魚沼には、戦死者も多く、魚沼スカイラインには、慰霊碑が有ります。学生は、“日本に来て私の街の名前を知っている人に会ったのは、初めてです”と感動していました。私は、逆に自分が数少ない世代になってしまったことに衝撃をうけました。今回は、久々の夢っくすイベントへの参加だった私にとっても楽しいものとなりました。

## 新入生歓迎スピーチ

今井 雄一

9月23日（火）に行われた国際大学が新入生向けに行っているオリエンテーションで、夢っくすを代表して会員の今井雄一から新入生向けに歓迎のスピーチを行って頂きましたので、その内容を要約で紹介させて頂きます。

「それぞれの国を代表してこの著名大学で学ばれる皆さんを心より歓迎します。夢っくすは国際大学に唯一公認された地域の多文化交流団体で、20代から90代までの約30名が活動しています。日本での生活には期待とともに不安もあるうかと思いますが皆さんのが安心して生活できるようしっかりと支えます。



また、日本語の学習指導や、ハロウィン、クリスマス、新年会、花見、着物着付けなど、年間を通して多彩な文化交流イベントを開催しています。また、私たちは皆さんの母国の文化を積極的に吸収したいと思っています。

南魚沼は美しい自然に囲まれた地域で、秋には山々が鮮やかに色づき、冬には一面が雪に覆われ、白銀の景色が広がります。スキーやスノーボードといった冬の体験も楽しむことができます。

この素晴らしい環境の中で、皆さんのが学びと生活を思い切り楽しめるよう、夢っくす一同、心を込めてサポートします。新しい生活のスタートをお祝いします。尚、このスピーチには副会長の角屋さん、運営委員の平野さん親子も応援に駆けつけて頂きました。

## 兼続公まつり



Memory of the Muikamachi Summer Festival

Muikamachi is located in the southern part of Niigata, about a 20-minute drive by car. Spending time shopping and enjoying the city is what we do most on weekends or when we have spare time. I was so delighted to participate in the summer festival, where I joined the Hamabi (Fire Festival)?wearing a yukata, which is a nice, perfect match for Japanese summer and high humidity, which is good for health. Not only us but also residents and visitors are wearing yukata at the summer festival, which made me feel the authenticity of Japanese unique culture, pride in traditional wear, and the joy of being present.



夢くすの会員さんと7月19日（金）に開催された兼続公まつりに行った学生さんから感想が寄せられました。

Arriving earlier than the fireworks, mingling around the temporary street food such as odan, kakigori, barbecue, and local traditional foods is much tastier, as it attracts not only the eye but also the nose, making us queue up for the food stall. Muikamachi processes rich, natural produce as a gift, offering multiple varieties, especially watermelon, a perfect complement to the seasonal fruit that cannot be missed. With a bit of watermelon and a scope of kokigori are remedies to resist against the summer season while mingling around in the buzz to buy food and souvenirs of our return home.

As the proverb of gRolling stone gathers no moss h, finally Yasaka shrine, which is one of the famous and ancient shrines, was visited to explore the culture and customs of the shrine about the best practices. Before the fireworks start, buying food, drinks, and souvenirs is the best option at the food stalls and temporary shops. Then, started to reserve a seat on the bench overlooking the Muikamachi river to enjoy the fireworks. With the soft breeze blowing and the fireworks illuminating the dark blue sky, a beautiful painting was drawn for everyone. Sound of Chalp, Chalp around to save a memory of the moment while playing fireworks with friends, relatives, relationships, and visitors in Muikamachi fs one of the summer festivals, full of nature, foods, culture, and consistent celebration of fireworks with ultimate enjoyment that will keep in memory and hope to come back again in the future.

Tun Aung Kyaw

## 総会

### 角屋 志津子

7月20日（日）に浦佐の「えづみや」にて、2025年度のうおぬま国際交流協会の総会を開催致しました。

今回の総会では、長年監査役を務めてこられた関矢秋子さんが退任され、新たに大島映子さんが選任されました。

長年にわたり監査役としてご尽力いただきました関矢秋子さんに、心より感謝申し上げます。

総会では、昨年度の事業報告および決算報告・監査報告、今年度の事業計画および収支予算案について審議が行われ、いずれも滞りなく承認されました。

会員数は減少傾向にありますが、各イベントやサロンは徐々に賑わいを取り戻しております。今後のさらなる発展のためにも会員増につなげ、より一層の活性化を図っていかなければと考えております。

総会後の懇親会では、久しぶりにお会いする会員さんも多く、酒席ということもあって近況報告や熱い話に花が咲き、終始とても楽しい時間となりました。

今年度も、学生の皆さんや夢くす会員の皆さんと共に、イベントやサロンを通じて交流・活動を深めていければと思っております。どうぞ皆様のご協力を宜しくお願い致します。



## きなこ団子作り



武宮 千賀子

夢っくすサロンできなこ団子作りに参加してきました。

学生さんと夢っくすのメンバーと、みんなでコロコロと丸めて小さいおにぎりのようなおだんごがどんどんできていきます。2歳の息子も参加しましたが、自分でごはんを混ぜてラップにのせて、コロコロととても楽しそうでした。きなこ団子は普通のごはんに片栗粉を入れて少し潰すとお団子のようになるということで、簡単に作れていいなと思いました。学生さんも楽しそうに作ってくれて、おいしくて、とてもよかったです。日本語をまだ勉強中の学生さんも、英語があまり話せないメンバーも、こういった体験をしながらだとたくさんお話ができると思います。企画して頂いてありがとうございました！

普段は火曜日と土曜日の1時から3時までゆめっくすのサロンで、学生さんと楽しくおしゃべりしていて、時々こういった楽しい企画があります。日本語がとても上手な学生さんもたくさんいます。国際交流に興味がある方、英語を勉強中の方も、なかなか国際大学に来る機会はないと思いますので、ぜひサロンに遊びにきてください！

※このイベントは8月30日（土）に開催されました。

## インドDIWARI



篠田 幸枝

10月25日（土）に行われたインドの光の祭典『ディワリ』に参加してきました。入学してきたばかりのハシタさんというインドの学生から、ディワリの招待状をいただいたのがきっかけです。

ディワリとはヒンズー教の祭典で、10月下旬～11月上旬の新月のあたりに5日間行われる伝統行事です。この期間は家や街中を明るく光で照らし、神様へ祈りを捧げるそうです。善で悪を打ち負かすという意味もあるそうですが、他にもいくつか謂われがあるようです。

国際大学のディワリは二回目の参加でした。今年はインドから来た学生が多いためか、前回と比べてずいぶんと本格的なお祭りに仕上がってきました。

会場の入口のホワイトボードには可愛らしくデコレーションされたディワリの文字が、その近くにはカラフルなサンドアートが出迎えてくれました。MLIC HALLはLEDでライトアップされて、色彩豊かな祭壇もありました。

司会は2人いて、英語と日本語で解説をしてくれました。部屋の中央ではプロジェクターを使って、お祭りの概要などをスライドで説明してくれました。司会の1人はハシタさんで、日本語で堂々とお話をしてくれました。また、インド学生によるサラスバティー（日本の弁財天）へ捧げる歌が披露されたり、伝統的なダンスパフォーマンスもありました。最後に全員で祭壇の前へ進み、祭壇の前でインド式のお祈りをしました。

ディワリではお菓子を家族や友人と食べる習慣があるので、会場でハルワというお菓子をいただきました。とても甘くてナッツが入っている練り菓子のようなものですが、さすがはインド…スパイスが効いていました。日本にはない味で、とても新鮮でした。さらに会場では持ち帰り用のインドカレーのお弁当が配られたり、お祈りの後にはCNPでインド料理のパーティーも用意していました。私はパーティーにも参加させてもらいましたが、インド料理はどれも本当に美味しい、ローズ味のラッシーという珍しいフレバーのドリンクも良かったです。

たくさんの学生たちと一緒にディワリをお祝いできて、とても良い経験になりました。きっと今年1年の厄も落ちて、幸せがやってくるでしょう。地域の方も誰でも参加できるそうなので、次回はインドの祭典にぜひ足を運んでみてくださいね。



## 新入生歓迎の日

高橋 和子

10月3日（金）午後2時より、国際大学体育館において新入生歓迎会（入学式）が行われました。今年も日本を含む50カ国の国と地域から229人の新入生が入学されました。

今年一番学生が多いのはインドの24名、2年生も合わせると40名ほどの人数になるそうです。その他、パキスタンは19名、バングラディシュは13名と南アジアの学生が多いようです。

これから2年または1年間、南魚沼市でこの濃密で多様性に満ちた空間で学生たちと時間を共有できることにワクワクします。今世界が地政学的な緊張の高まりと経済の不確実性などで不安定な状況ではありますが、ここで学生さん達と過ごすチャンスを大切にして、より良い世界の架け橋となれるよう今年も心新たに夢っくすの活動を続けていきたいと思いました。今後共、会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願ひ致します。

## ハロウィンイベント

平野 浩子

今年も会員の皆さまのご協力のもと、11月1日（土）にキッズハロウィンイベントを無事に開催することができました。当日は、カラフルな仮装で参加した子どもたちが、ピニャータ割りやビンゴゲーム、ハロウィンクラフトづくりなどに夢中で取り組み、会場は終始笑顔であふれていきました。

特にピニャータ割りは子どもたちが力いっぱい挑戦し、手作りのピニャータ棒を使って大興奮！！お菓子が飛び出した瞬間、大きな歓声が上がりいました。ビンゴゲームではハロウィンにちなんだ言葉が読み上げられるたびに一喜一憂し、保護者の皆さまも一緒に楽しむ姿が見られました。安全面に配慮しながらスムーズに運営することができたこと、改めて感謝いたします。

今後も、子どもたちが季節の行事を通じて国籍を超えて楽しさを体験し共有できるよう、より魅力的なイベントづくりに努めてまいります。



 うおぬま国際交流協会  
UNUMA Association for Multicultural Exchange

発行元：うおぬま国際交流協会（通称：夢っくす）

Email: office@umex.ne.jp

URL: <https://www.umex.ne.jp/>

事務局：〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐1417 Nomad Kitchen & Coliving

活動拠点：夢っくすサロン（国際大学 第3学生寮1階）

電話番号：070-5083-3123 「高橋 和子（会長）」

## 入会方法

入会の申込書を夢っくすのホームページからダウンロードして、記載のうえ、夢っくすのメールアドレス宛に添付でお送りください。送付後は以下の口座に会費の振込をお願いします。振り込まれた際には、いつ頃振り込まれたかメールにてお知らせください。

### 年会費

個人会員：3,000円

家族会員：1,500円

団体会員：1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会

### 【編集後記】

前号を発行してから間が開いてしまい、申し訳御座いません。  
前号まで編集に使用していたソフトが使えなくなってしまい、  
別の方法で編集しました。風合いがかなり変わってしまいまし  
たが、ご容赦頂けましたら幸いです。(toshi)